

要注意 いわゆる健康食品シリーズ⑩ -健康茶中のセンナ検出に関する問題点の変遷-

当所では、平成10年から健康茶を中心に、ダイエットを標榜したいわゆる健康食品について検査しています。検査を始めた当初と比較してみると、最近ではセンナ^{*1}の葉の確認について大変困難になってきています。平成12年頃までの健康茶では、細断したセンナの葉そのものが入っており、センナ特有のにおいも認識でき、対照となる局方センナの特徴をよく把握していれば、センナの確認は比較的容易でした。しかし、徐々にそのような単純な形態のものは見受けられなくなりました。

平成12年以降から19年の間に当所で市販の健康茶を調査したところ、109製品中21製品にセンノシドA,Bを検出しました。これらの製品は薄層クロマトグラフ(TLC)および液体クロマトグラフ(HPLC)による成分分析において、局方センナと同様の結果を得ています。しかし、21製品中8製品は写真1のように葉が黒く変色している等、局方センナとは外観上異なる点があり、センナの葉と断定できませんでした。これら断定できなかった葉については、当所で実験的に局方センナから作製した加工センナ(写真2)との比較によりセンナ葉に由来する可能性が極めて高いことが判明しました^{*2}。

平成21年度以降の検体では、加工センナ含有の問題に加えて原材料名の箇所に「カシヤ・アラタ」という表示が目につくようになりました。「カシヤ・アラタ(*Cassia alata*)」は「センナ(*Cassia angustifolia*)」と同レベルのセンノシドA,Bを含む場合がある^{*3}とのことですが、医薬品ではないため、法で規制できないのが難点です。また、錠剤の形状をしているものの中にセンナ末が入っている可能性が高いが、植物片が細かく崩れているためにセンナと断定できなかったという事例もありました。さらに「センナ茎抽出物」と表示しているものもあり、この場合も規制が困難です。

このようなことから、最近の市販健康茶やダイエット用健康食品にはセンノシドA,Bが検出されているにもかかわらず、センナが確認できずにいる状況です。市場に出回っているこのような健康食品の実態把握をしていくと共に、これらの服用による下痢、腹痛等の健康被害を未然に防ぐために注意喚起していくことが必要です。

*1 当所ホームページ薬事情報「健康茶とセンナ」

http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/yakuzi_inf/higai/senna.html

*2 食品衛生学雑誌, 50(6), 297-303. (2009)

*3 東京都健康安全研究センター年報, 60, 91-96. (2009)

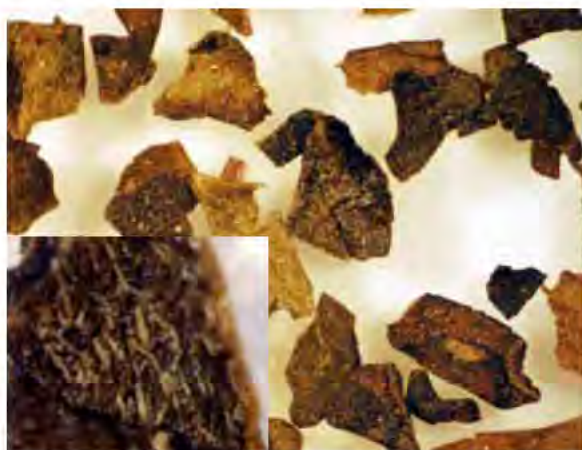


写真1 センノシドA, Bを含有している検体の
実体顕微鏡写真



写真2 当所で実験的に作製した加工センナの
実体顕微鏡写真

※「要注意 いわゆる健康食品シリーズ①～⑨」は横浜市衛生研究所WEBページ「薬事情報:健康被害シリーズ」に掲載されています。http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/yakuzi_inf/higai/

【検査研究課 薬事担当】